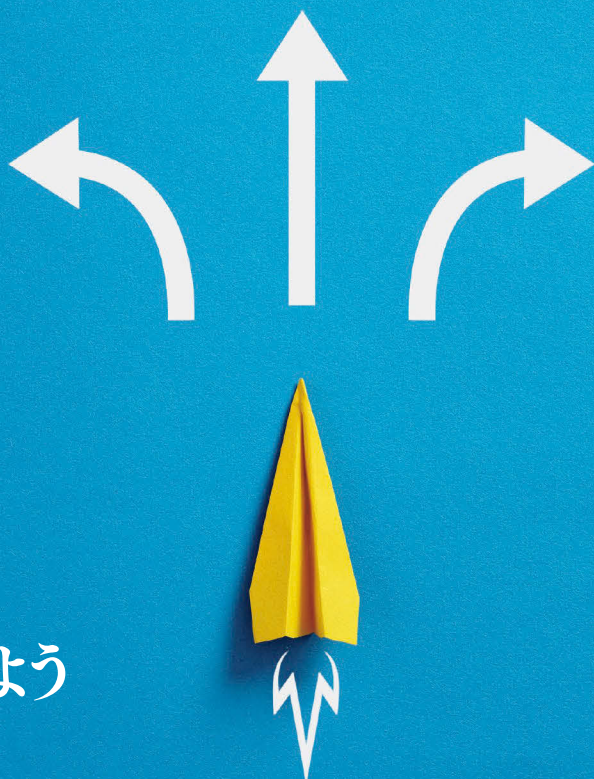


特集

[保存版]

「頓服」の 迷い解決！

現場の問題を整理しよう



本誌編集室は2022年10月、オンラインセミナー「精神科看護における頓服（向精神薬）で、『ほんとにこれでいいのかな』と感じている人、集まれ!」を開催し、精神科認定看護師・山下降之さんに講演を行っていただきました。そうしたところ、「頓服多用文化を変えよう」という問題意識に共感する声と、さらなるお悩みが多数寄せられました。

頻回な希望があった時は渡していい？
頓服を減らすためにできることはない？
頓服に依存しすぎているけど、看護は本当にこれでいいの？
「不穏時」「不眠時」どちらに何を使う？
どれくらい時間を空ければまた飲んでもらっていい？
効果と副作用をどう評価すればいいの？
医師にはどう伝える？
あわや事故？ 高齢者への向精神薬、大丈夫？

本特集では、こうした多様な現場の悩みを整理し、1つずつクリアにしていきたいと思います。

頓服の知識と指示の意図については、精神科医・清水勇雄先生にご協力いただきました。